



人権・同和教育だより 第1号

平成27年5月15日

高P連育成事業で発表してきました…

本校PTAは、平成26年度・27年度の人権・同和教育「PTA活動」育成事業の指定を受けています。そのため、「PTA活動をととして、学校における人権・同和教育が各家庭においても深まるように、PTA会員の人権意識の高揚を図る」取り組みを進めてまいりました。1年目の取り組みが終わったところで、指定PTAには中間発表があります。

◆台風6号の風雨が吹き荒れた5月12日(火)に、松江合同庁舎において、PTA会長による指定PTA中間発表が行われました。PTAからは大畑副会長、本校からは総務部長と人権・同和教育担当者が参加しました。指定PTAの広瀬小学校、大田第三中学校、出雲高校に続き最後の発表となり、施設設備委員長、生徒育成委員長とPTA活動に貢献してこられた水津会長さんならではの体験談やPTAへの思いも交え、本校の活発なPTA活動において、どのように人権・同和教育に取り組んできたかについて発表されました。人権同和教育課からは、「PTA活動を保護者が楽しみ、主体的に取り組んでいる様子がよく分かった。PTA活動を続けていくためにはとても大切なことです。」という評価をいただきました。



壇上の山田孝野次郎少年 1924年3月5日 全水青年同盟西浜支部演説会 (朝日新聞社提供)



◆この発表の前後には、人権・同和教育研修も実施されました。午前中の第一次研修は、美郷町立大和小学校制作の映画「つなぐ…人と人の想いを」を鑑賞しました。この映画は、小学校の演劇クラブが中心になり、児童がテーマを発案し、事務職員の方が中心となり、保護者や地域の方とともに作られました。今回のテーマは「いじめについて」であり、差別意識の根源にあるものについて少女が果敢に取り組み、人間的に成長していくという内容で、とくに児童の迫真の演技に感動しました。そして毎年、地域の人権研修会で上映会がおこなわれ、子どもも含めた多くの方が研修会に参加されるそうです。地域が一体となって人権問題に取り組む美郷町の取り組みには、このような仕掛けがあったんですね。

◆中間発表後の第二次研修は、「親子で取り組む人権・同和教育」と題して、人権施策推進課指導講師の三保和典さんによる講演でした。教育愛と家族愛を軸に、ご自身の教育における実践や部落差別の起源・水平社宣言で立ちあがった山田孝野次郎少年について、オリジナルのCG映像と音楽が織り交ぜて語られました。中でも“花”をととして深くつながっていた世阿弥親子の姿が印象的でした。私たちも知らず知らずのうちに、親の背中から多くのことを学んできたんだなと思いました。

2年目となる今年度の目標は、「PTA活動以外にも保護者の方に学校に来ていただき、学校における人権・同和教育にふれてもらおう」です。そのためにPTAと学校の連携をさらに強化し、人権講演会の日をちを翔陽祭第1日目に設定しました。さらに学期に1回おこなわれる人権・同和教育の授業や人権講演を公開し、ご案内する予定です。

この機会にぜひ来校され、ご家庭においても人権問題や同和問題について子どもさん知識を共有され、思いを語り合っただけならと思います。

今年度もよろしくお願ひします。

